

# 退職一時金・年金制度

——現状と問題点をみる——

是 佐 忠 男

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 退職金とは             | (2) 勤続年数別退職金支給率の求め方 |
| 1. 退職一時金のきめ方      | (3) 退職年金            |
| (1) 定年退職者の最低生計費算定 | イ 退職年金計算の公式         |
| (2) 退職金の現状        | 1) 単純と複利            |
| (3) 退職一時金のきめ方     | 2) 終価               |
| 退職金源資の計算方法        | 3) 現価               |
| 2. 退職金・退職年金の算定    | ロ 年金現価              |
| (1) 基準退職金支給率の求め方  |                     |

## 退職金とは

1900年代になってからの、わが国の労働経済、就中雇用賃金事情をみると、経済の高度成長時のインフレ期には、退職金制度の普及、伸長は遅れがちであったが、減速経済態勢下、不況期では、一時帰休を含め解雇者数も増え、退職金制度も年金制や一時的な退職加算金で対処しようとする事例の増える傾向がある。

それは①制度としては年金制が増え、企業経理上から負担額は平準化され、外部積み立てより年金が保障されること。②労働者も生活の安定性があり、社会保障制度との関連で運用し易くなること、などに起因していると思える。

退職者の心情としても、一時金（払）を希望しがちである。なぜなら、消費内容の向上趨勢に背反するインフレの進行、さらには住宅未整備などによりなりゆきに任せるとビクトル・ユゴー (Victor Hugo) の書くレ・ミゼラブル (Les Misérables) での Jean Valjean の後年になればよいが、その前半生の軌跡をたどらない保障もないし、さらにまた、退職年齢が若く、その後の生活、職業にとっての資金となるからである。退職一時金額、年金額は月例賃金、退職金算出の基礎賃金を重視するか、あるいは退職金の算出方法や生涯賃金を重視するかで変わっていく。

是 佐 忠 男

退職金制度を考えるに当っては、労使それぞれの立場上、従来からの社会、風土、慣行等の Inertia により勝ちな意識、感覚などにズレが生じないように、社会制度の改訂と銘し、諸般の事象を十分おさらいしてかかることが大切である。

公労使の別なく、退職金制度設定の参画者やその取り扱い担当者は、労働力の健全な保持・経済社会全体の均衡、成長さらに、従業員の感覚・意欲を十分把握するとともにどうすれば企業の発展、安定に寄与できるかなどを念頭に、この制度の改訂努力が積み上げられることを切に望みたい。

そうした課題にすべて応えるには紙面の制約もあるが、少なくとも、この制度の現状とこれからの Sollen, 運用のポイントについて以下、整理してみたい。機能的な退職金・年金制度が設定され、運用されることを願って稿を進める。なお、主題からして生計費論、労働力高齢化、退職金算定基礎賃金等退職一時金のきめ方や退職年金の類型と運用、社会保障と年金、公務員等の退職金・年金制度・国際比較等は看過できない事項ながら諸事輻輳のまま、その詳細はまたの機会にゆずる。

日本人の平均寿命は、別表のとおり昭和54年現在で、男が73.46歳、女が78.89歳と、前年に引き続き伸びも大きく急速に高くなってくることが予想される。(65歳以上人口÷15～64歳人口、55年=老年人口指数13.23、75年=21.74、80年=24.12、人口問題研究所資料)厚生省が昭和55年7月まとめた54年の簡易生命表によると、平均寿命は50年に比べ男1.7歳、女1.94歳と大きな伸び。また、これまで横ばい状態だった高齢者の平均余命も、インフルエンザの大流行がなかったことも影響して著しく伸びた。交通事故、公害ものかは、寿命では欧州のトップグループに迫ってきた。

厚生省が毎年作成する簡易生命表は、その年の日本の推計人口と人口動態統計をもとに、

主な年齢の平均余命とその伸び (単位：年)

| 年 齢 | 男     |       |      | 女     |       |      |
|-----|-------|-------|------|-------|-------|------|
|     | 50 年  | 54 年  | 伸 び  | 50 年  | 54 年  | 伸 び  |
| 0歳  | 71.76 | 73.46 | 1.70 | 76.95 | 78.89 | 1.94 |
| 10  | 62.98 | 64.43 | 1.45 | 67.94 | 69.69 | 1.75 |
| 20  | 53.31 | 54.72 | 1.41 | 58.11 | 59.83 | 1.72 |
| 30  | 43.82 | 45.17 | 1.35 | 48.42 | 50.07 | 1.65 |
| 40  | 34.45 | 35.70 | 1.25 | 38.83 | 40.42 | 1.59 |
| 50  | 25.60 | 26.78 | 1.18 | 29.54 | 31.05 | 1.51 |
| 55  | 21.37 | 22.55 | 1.18 | 25.07 | 26.52 | 1.45 |
| 60  | 17.41 | 18.51 | 1.10 | 20.76 | 22.13 | 1.37 |
| 70  | 10.55 | 11.38 | 0.83 | 12.83 | 13.98 | 1.15 |
| 80  | 5.75  | 6.28  | 0.53 | 6.88  | 7.66  | 0.78 |
| 85  | 4.17  | 4.75  | 0.58 | 5.05  | 5.64  | 0.59 |

死亡状況が今後不変と仮定して各年齢の人口があと何年生きられるかをほじき出したのである。

平均寿命が延びている要因として厚生省では、医療・衛生・生活環境の改善をあげている。特に乳児死亡率の低下が目立ち、男の乳児の場合、生後1年間の死亡数が50年は10万人中1,110人だったのに対し、1年後の51年は同1,037人と73人減少している。

寿命と裏腹の関係にある死因だが、各年齢の人が、将来何が原因で死亡する確率が最も高いかをみると、零歳の男性（昨年誕生）の場合、トップが脳血管疾患の26.11%、次いでガン19.14%、心疾患15.55%。同じく女性は脳血管疾患28.11%、心疾患17.56%、ガン14.11%の順になっており、この男女死亡確率の順位は、抽出調査した20、40、65歳の各年代も変わらない。

厚生省は「もしこの3大死因がなくなると仮定すると、男女ともさらに平均寿命が10歳以上延びる計算になる」としている。

「男70歳、女75歳」が、世界の長寿国ラインといわれている。各国の厳密な比較はできないが、厚生省手持ちの資料によると、このラインを越えているのは世界の最長寿国と目されるスウェーデンのほか、デンマーク、オランダ、ノルウェーなど数か国しかない。

平均寿命の国際比較

| 国名           | 作成基礎期間  | 男     | 女     | 国名            | 作成基礎期間  | 男     | 女     |
|--------------|---------|-------|-------|---------------|---------|-------|-------|
| 日本           | 1979    | 73.46 | 78.89 | ユーゴスラビア       | 1971~72 | 65.59 | 70.42 |
| ヨーロッパ・スウェーデン | 1977    | 72.37 | 78.50 | ハンガリー         | 1974    | 66.54 | 72.42 |
| ノルウェー        | 1977~78 | 72.31 | 78.65 | チェコスロバキア      | 1976    | 66.99 | 74.05 |
| デンマーク        | 1975~76 | 71.1  | 76.8  | ポーランド         | 1976    | 66.92 | 74.55 |
| フィンランド       | 1975    | 67.38 | 75.93 | ソ連            | 1971~72 | 64    | 74    |
| オランダ         | 1977    | 72.0  | 78.4  | アメリカ・カナダ      | 1975~77 | 70.19 | 77.48 |
| アイスランド       | 1977~78 | 73.4  | 79.3  | アメリカ(白人)      | 1977    | 70.0  | 77.7  |
| イングランド・ウェールズ | 1974~76 | 69.62 | 75.82 | プエルトリコ        | 1976    | 70.21 | 77.11 |
| フランス         | 1977    | 69.73 | 77.85 | エルサルバドル       | 1960~61 | 56.56 | 60.42 |
| ドイツ連邦共和国     | 1976~78 | 68.99 | 75.64 | アルゼンチン        | 1970~75 | 65.16 | 71.38 |
| イタリア         | 1970~72 | 68.97 | 74.88 | オセアニア・オーストラリア | 1965~67 | 67.63 | 74.15 |
| スイス          | 1968~73 | 70.29 | 76.22 | ニュージーランド      | 1970~72 | 68.55 | 74.60 |
| オーストリア       | 1976    | 68.07 | 75.05 | アフリカ・エジプト     | 1960    | 51.6  | 53.8  |
| スペイン         | 1970    | 69.69 | 74.96 | アジア・イスラエル     | 1975    | 70.3  | 73.9  |
| ポルトガル        | 1974    | 65.29 | 72.03 | 大韓民国          | 1970    | 63    | 67    |
| ギリシャ         | 1970    | 70.13 | 73.64 | タイ            | 1960    | 53.6  | 58.7  |
| ドイツ民主共和国     | 1976    | 68.82 | 74.42 | インド           | 1951~60 | 41.89 | 40.55 |

資料：Demographic Yearbook 1978 U. N. 等

(参考)

|    |      |       |       |
|----|------|-------|-------|
| 日本 | 1960 | 65.32 | 70.19 |
|    | 1970 | 69.31 | 74.66 |

是 佐 忠 男

このうちトップはスウェーデン（男72.12歳，女77.66歳）で，あとはノルウェー（男71.32歳，女77.60歳）—1973年，オランダ（男72.31歳，女78.65歳）—1978年—と続くが，同省では，日本はスウェーデンに匹敵するところまできたとみている。

## 1. 退職一時金のきめ方

退職金のあるべき性格については，いろいろ議論があるが，主なものに①老後の生活費，②在職中の功勞報償，③賃金後払い，など3つあげられる。

これらの説はいずれも退職金の性格の一面をとらえており，どれかの説に割り切ってしまうことは，むしろ現実的ではない。

そこであるべき性格というより現実にある退職金の姿から，どんな性格をもっているかをみることにしよう。もちろん退職金の性格を直接知ることにはできないが，算定方法や使途から逆に推測するわけである。

まず，退職金の算定方法に含まれる意味を考えてみよう。退職金は通常，勤続年数とともに増加する支給率によって計算される仕組みになっている。この点からいえば，在職中の功勞報償という性格は考えられる。

功勞報償説も，金額の算定方法からみると2つある。1つは長期勤続による企業への寄与度を主に考えるもので，賃金の1部がストックされて退職金へ回すもので，算出起因からみれば貯蓄である。他の1つは，退職慰勞金の考え方である。これは役員の慰勞金の場合と同じく，在職中の寄与に対する総合的な慰勞報償である。もっともこの場合，基本的には生活保障説に立ちながら，算定に際して基礎賃金の相違や，支給率に対する職務加算等により，個々人の功勞，寄与度の違いを反映させるものもある。もう1つの具体的な算定方法と結びつく考え方として，在職中の寄与によって企業に蓄積された部分の1部分を分与する考え方（役員に対すると同じ）も僅かではあるがみられる。

次に，支給率を乗ずる退職金の算定方式（額）であるが，これは賃金かあるいは，それと密接に連動する金額が用いられている。この点に着目すれば賃金後払的性格も考えられる。もし，入社から退職までの期間に支払われた賃金総額と退職金額とが比例的な関係にあれば，そのことはさらに裏付けられる。なお，企業等賃金支払い側の支払い賃金といっても実際は，長い年月の間に支払われたものであるから，貨幣価値や賃金水準が大幅に異なったものを合計することになり不適当だから，現在の賃金水準すなわち現在の昇給曲線におけるその期間の支払い賃金総額を考えなければならない。

老後の生活費という性格であるが，これは退職金の算定方法の中からはみることにはできない。なぜなら，勤続年数が長くなればそれだけ老後の年数が短くなり，老後の生活費

も少なくなるはずであるが、それに反して退職金の方は勤続年数とともに増加する仕組みになっているからである。（筆者は定年後再就職が困難な55歳～60歳以上の定年制には賛成しかねる。むしろ、40歳台定年制を採用し、定年退職後、自分の職能に適した職場＝在来企業での配転も含む＝で、定年退職者の人的能力 man power の有効発揮を期待する方が経済社会全体としても、また退職者個々人にも合理的だと考える）。

しかし、退職金の使途としては、とくに定年退職の場合は老後の生活費に充当されることは明らかである。したがって、退職金の役割として老後の生活費という側面のあることは否定できない。

以上のことから、退職金の性格として、老後の生活費、功勞報償、賃金後払いという3つを同じ次元で考えるのではなく、性格論としては功勞報償と賃金後払いとを、役割論として老後の生活費やその他を考えた方がよいのではないか。

老後の生活費と結びつけて考えられるのは定年時の退職金であり、それ以外の退職金については勤続年数、職務、退職事由などを織り込んだ算定方法に、功勞報償の性格を濃くすべきか、あるいは賃金後払いの性格を濃くすべきかということが問題になる。

以下、定年時退職金と密接な関係にある定年後の生活費と、それをめぐる諸問題をみてみよう。

高齢者の生活費を求めるには、世帯人員数とその継続期間、そして各時期の生計費を知る必要がある。

世帯人員数と継続期間は、定年年齢を決めればそれに応じて平均余命（死亡するまでの平均年齢）が決まり、また妻の平均余命もほぼ決まることになり、子供の状況も出生の時期が分かればほぼ独立の時期が決まることになるから、それで世帯人員数とその持続期間を定まってくる。

生計費については、いろいろなものが考えられる。それはたとえば、世帯人員数別標準生計費、高齢世帯の実態生計費、勤労者世帯の世帯人員数別実態生計費、老人ホームの入居料金あるいは平均賃金の何割という決め方もされている。要するに老後の生活水準をどの程度のものに考えるかによって決まってくる。

退職一時金、年金は老後の生活問題という点に結びついている。ただ老後の生活保障は、わが国では、これを専ら退職金または年金のような、基本給や定期的給与とは、別項目の賃金で考慮するのがたてまえになっている。

しかし、これとて必ずしも、そうとは限らず、老後の生活保障は、次の3つの保障形態がとられていることは忘れられない。すなわち、その1つは、退職金、年金であることはいうまでもないが、これは企業保障である。もう1つは厚生年金保険、失業保険（雇用保険）等社会保険すなわち国家保障（もっともこれは本人もきょ出しているが、企業もきょ

表 1 退職金の算定基礎

(1) 退職金算定基礎の内容 (30人以上企業)

〔昭和50年9月、合計=100〕

| 企業規模     | 合計（企業数）       | 基本給を基準に算定基礎を定めている企業 |                |       |        |                |       |        | 基本給を算定基礎としない別途定めている企業 |               |             |
|----------|---------------|---------------------|----------------|-------|--------|----------------|-------|--------|-----------------------|---------------|-------------|
|          |               | 計                   | 全ての基本給を算定基礎とする |       |        | 一部の基本給を算定基礎とする |       |        | 計                     | 基本手当も算定基礎としない | 手当のみ算定基礎とする |
|          |               |                     | 計              | 基本給のみ | 基本給と手当 | 計              | 基本給のみ | 基本給と手当 |                       |               |             |
| 規模計      | 100.0(71,400) | 74.5                | 57.7           | 55.9  | 1.8    | 16.7           | 16.3  | 0.5    | 25.5                  | 25.1          | 0.4         |
| 1,000人以上 | 100.0( 1,642) | 87.9                | 48.9           | 47.2  | 1.7    | 39.0           | 38.5  | 0.5    | 12.1                  | 12.0          | 0.1         |
| 100～999人 | 100.0(22,041) | 81.6                | 59.5           | 57.6  | 1.8    | 22.2           | 21.2  | 1.0    | 18.4                  | 18.3          | 0.1         |
| 30～99人   | 100.0(47,717) | 70.7                | 57.2           | 55.4  | 1.8    | 13.5           | 13.2  | 0.2    | 29.3                  | 28.8          | 0.5         |

(2) 中小企業における退職一時金の算定方法 (30～299人企業)

〔昭和53年7月〕

| 業 種       | 調査産業計<br>(企業数) | 退職一時金算定<br>基礎額×一定率 | 一 定 額<br>(勤続年数のみ) | 一 定 額<br>(勤続年数別、<br>退職理由別) | そ の 他 |
|-----------|----------------|--------------------|-------------------|----------------------------|-------|
| 全 産 業     | 100.0(1,013)   | 73.0               | 12.8              | 9.3                        | 4.9   |
| 建 設 業     | 100.0( 87)     | 71.3               | 13.8              | 14.9                       | —     |
| 製 造 業     | 100.0( 549)    | 75.8               | 12.4              | 6.9                        | 4.9   |
| 卸売・小売業    | 100.0( 143)    | 73.4               | 14.7              | 9.8                        | 2.1   |
| 金融・保険業    | 100.0( 31)     | 93.5               | 3.2               | —                          | 3.2   |
| 運輸・通信業    | 100.0( 96)     | 54.2               | 17.7              | 20.8                       | 7.3   |
| サ ー ビ ス 業 | 100.0( 107)    | 70.1               | 10.3              | 8.4                        | 11.2  |

資料出所：労働省「退職金制度総合調査報告」

(注)「その他」とは、規定がないものおよび記入がないもの。

出している)である。さらに加えて最近とくに強調され始めている、従業員自身老後に備えての貯蓄や投資、すなわち自己保障などがある。

以上を通じて、最も具体的な算出方法と結びつく一般的な考え方は、標準的な労働者について、最低生活保障の考え方をとるもので、その際個々の労働者の功労、寄与度の違いは算定基礎賃金や職務加算などを含む功労加算の違いで考慮されることである。

これを賃金体系上、別項目の賃金とする事例も若干みられる(表1)。こうした事例はやはり慣習的な面からきているといえよう。賃金体系で生活保障面からその適正なあり方を十分検討しないまま、他社の様態や水準を基準とする例も少なくない。だからといって、企業の支払能力が問題にされないということではなく、むしろこの面からは、賃金体系のなかの1項目として、賃金全体に占める割合の問題と、それが現在だけでなく、将来の負担額含率増加の問題、および退職者の増加によってその支払いに急激な増加の恐れがある(たとえば、昭和20年代に企業の将来を見込んで、全労働者の10%程度20歳後半の労働者を採用していたとした場合、54年で定年退職者となっている場合など)ことなどがあげられる。

表2 定年年齢改定状況（30人以上企業）  
定年年齢の改定と一律定年延長における定年年齢の変化

| 年・規模         | 定年年制の改定の有無<br>(定年年制有企業=100) |            | 定年年齢の改定別企業の割合（一律定年延長企業=100） |           |                 |                 |                 |                 |                 |           |                 |                 |                 |                 |                 |           |
|--------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|
|              | 改定した                        | うち<br>一律改定 | 改正し<br>ない                   | 55歳<br>未満 | 55歳<br>→<br>56歳 | 55歳<br>→<br>57歳 | 55歳<br>→<br>58歳 | 55歳<br>→<br>60歳 | 55歳<br>→<br>61歳 | 56歳<br>以上 | 56歳<br>→<br>57歳 | 57歳<br>→<br>58歳 | 57歳<br>→<br>59歳 | 58歳<br>→<br>60歳 | 59歳<br>→<br>61歳 | 60歳<br>以上 |
|              |                             |            |                             | 55歳<br>未満 | 55歳<br>→<br>56歳 | 55歳<br>→<br>57歳 | 55歳<br>→<br>58歳 | 55歳<br>→<br>60歳 | 55歳<br>→<br>61歳 | 56歳<br>以上 | 56歳<br>→<br>57歳 | 57歳<br>→<br>58歳 | 57歳<br>→<br>59歳 | 58歳<br>→<br>60歳 | 59歳<br>→<br>61歳 | 60歳<br>以上 |
| 昭和49年        | 14.0                        | 4.9        | 81.8                        | 1.0       | 5.5             | 8.6             | 12.1            | 59.2            | —               | 4.1       | 2.9             | 3.9             | —               | —               | —               | 2.1       |
| 51           | 9.1                         | 4.4        | 88.8                        | 1.6       | 12.0            | 14.4            | 13.6            | 16.7            | 0.8             | 9.3       | 16.5            | 6.2             | 0.5             | 6.4             | —               | —         |
| 53           | 6.9                         | 3.7        | 89.6                        | 1.4       | 7.5             | 24.9            | 11.4            | 22.4            | 3.4             | 6.5       | 11.9            | 4.2             | 1.4             | 5.1             | —               | —         |
| 53年規模別       |                             |            |                             |           |                 |                 |                 |                 |                 |           |                 |                 |                 |                 |                 |           |
| 5,000人以上     | 12.1                        | 8.1        | 87.4                        | —         | 5.3             | 5.3             | 5.3             | —               | —               | 31.6      | 36.8            | —               | 15.8            | —               | —               | —         |
| 1,000～4,999人 | 10.5                        | 5.9        | 89.0                        | —         | 4.3             | 10.0            | —               | 2.9             | —               | 52.6      | 18.6            | 11.4            | —               | —               | —               | —         |
| 300～999      | 8.4                         | 4.6        | 90.2                        | —         | 6.9             | 26.4            | 14.9            | 5.2             | —               | 16.7      | 15.5            | 3.4             | —               | 10.9            | —               | —         |
| 100～299      | 9.0                         | 4.6        | 87.9                        | 3.8       | 7.3             | 18.7            | 14.4            | 29.3            | —               | 7.9       | 2.3             | 8.3             | 4.0             | 4.1             | —               | —         |
| 30～99        | 5.7                         | 3.2        | 90.2                        | 0.4       | 7.9             | 29.7            | 9.8             | 23.0            | 6.4             | 0.1       | 16.1            | 1.4             | —               | 5.2             | —               | —         |

資料出所：労働省「雇用管理調査」（各年1月）

（注）49年は47年1月2日～49年1月1日、51年は49年1月2日～51年1月1日、53年は51年1月2日～53年1月1日  
までの間に定年年齢を改定したもの。

表 3 定年延長の阻害要因（重複回答）

〔昭和53年1月、定年年齢を改定しなかった企業＝100〕

（単位：％）

| 企業規模         | 阻 害 要 因<br>(改定しなかった企業＝100) |                               |                 |     | 人事管理上の問題の内訳（①の合計＝100）       |                      |                 |                      |                           |      |
|--------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------|-----|-----------------------------|----------------------|-----------------|----------------------|---------------------------|------|
|              | 人事管理<br>上の問題<br>①          | 退職金、<br>賃金支払い<br>額の増大の問題<br>② | その他<br>の問題<br>③ | 不明  | 職務内容<br>作業環境<br>が適してい<br>ない | 職務再編<br>成が出来<br>ていない | 人事が<br>停滞す<br>る | 配置転換<br>が円滑に<br>いかない | 労使の話<br>合いがま<br>とまらな<br>い | その他  |
| 規 模 計        | 28.0                       | 26.1                          | 83.1            | 3.0 | 42.5                        | 18.1                 | 29.4            | 18.5                 | 5.5                       | 7.7  |
| 5,000 人 以 上  | 44.0                       | 30.1                          | 91.2            | 0.9 | 30.5                        | 37.9                 | 63.2            | 22.1                 | 7.4                       | 1.1  |
| 1,000～4,999人 | 34.7                       | 28.4                          | 95.0            | 0.5 | 25.7                        | 30.7                 | 57.4            | 16.4                 | 4.5                       | 7.6  |
| 300～ 999人    | 32.5                       | 28.9                          | 92.7            | 1.1 | 39.1                        | 16.8                 | 40.8            | 15.5                 | 7.2                       | 7.7  |
| 100～ 299人    | 31.7                       | 23.7                          | 85.9            | 2.0 | 42.0                        | 14.8                 | 32.8            | 14.8                 | 4.1                       | 10.0 |
| 30～ 99人      | 25.7                       | 26.5                          | 80.3            | 3.8 | 44.3                        | 19.0                 | 24.3            | 20.8                 | 5.8                       | 6.6  |

| 企業規模         | 退職金、賃金支払い額の増大の問題の内訳<br>(②の合計＝100) |                             |                              |                                |      | その他の問題（③の合計＝100）   |                           |                              |                     |     |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|------|--------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------|-----|
|              | 賃金体系<br>の見直し<br>が出来て<br>いない       | 職務・職<br>能給の導<br>入が遅れ<br>ている | 退職金制<br>度の見直<br>しが出来<br>ていない | 労使の<br>話し合<br>いがま<br>とまら<br>ない | その他  | 過剰人<br>員を抱<br>えている | 再雇用・<br>勤務延長<br>制度があ<br>る | 現行の定<br>年制で十<br>分と判断<br>したから | 労働者の<br>平均年齢<br>が低い | その他 |
| 規 模 計        | 42.8                              | 15.4                        | 46.1                         | 8.4                            | 12.9 | 4.3                | 35.2                      | 54.4                         | 14.5                | 5.0 |
| 5,000 人 以 上  | 81.5                              | 12.3                        | 47.7                         | 12.3                           | 6.2  | 20.3               | 46.2                      | 50.3                         | 4.6                 | 5.6 |
| 1,000～4,999人 | 64.4                              | 20.4                        | 52.5                         | 12.0                           | 10.8 | 15.3               | 48.5                      | 52.7                         | 9.4                 | 6.6 |
| 300～ 999人    | 49.9                              | 20.9                        | 47.2                         | 15.3                           | 10.3 | 8.7                | 48.5                      | 48.3                         | 15.1                | 4.1 |
| 100～ 299人    | 46.4                              | 17.6                        | 37.6                         | 10.0                           | 16.2 | 6.7                | 41.7                      | 49.3                         | 15.7                | 4.2 |
| 30～ 99人      | 39.5                              | 13.6                        | 48.7                         | 6.6                            | 12.3 | 2.1                | 29.8                      | 57.6                         | 14.2                | 5.4 |

資料出所：労働省「雇用管理調査報告」（昭和53年1月）

表 4 再雇用制度および勤務延長制度（30人以上企業）

再雇用 勤務延長制度の状況

〔各年1月〕

| 年・企業規模       | 制度の有無<br>(定年制を定めている企業＝100) |                       |      | 内 訳 (再雇用、勤務<br>延長制度のある企業＝100) |              |                  |
|--------------|----------------------------|-----------------------|------|-------------------------------|--------------|------------------|
|              | 合 計                        | 再雇用、勤務<br>延長制度があ<br>る | 制度なし | 再雇用制度<br>のみ                   | 勤務延長制<br>度のみ | 再雇用制度と<br>勤務延長制度 |
| 昭 和 49 年     | 100.0                      | 81.2                  | 18.8 | 56.2                          | 29.4         | 14.4             |
| 51           | 100.0                      | 83.5                  | 16.5 | 53.2                          | 29.8         | 17.9             |
| 53           | 100.0                      | 79.0                  | 21.0 | 58.6                          | 26.4         | 15.0             |
| 昭和53年規模別     |                            |                       |      |                               |              |                  |
| 5,000 人 以 上  | 100.0                      | 78.5                  | 21.5 | 75.3                          | 9.8          | 14.9             |
| 1,000～4,999人 | 100.0                      | 80.9                  | 19.1 | 73.7                          | 8.7          | 17.7             |
| 300～ 999人    | 100.0                      | 83.5                  | 16.5 | 73.7                          | 12.3         | 14.0             |
| 100～ 299人    | 100.0                      | 85.1                  | 14.9 | 65.9                          | 21.3         | 12.8             |
| 30～ 99人      | 100.0                      | 75.8                  | 24.2 | 52.3                          | 31.6         | 16.1             |

資料出所：労働省「雇用管理調査報告」（各年1月）

## (1) 定年退職者の最低生計費算定

退職金額算定の対象となる労働者を、勤続30年の長期雇用で、標準的労働者として（昇給，昇進，昇格等が標準的であった者）みよう。——最も対象の多い学歴別をとる場合もある。中学卒では職長または課長クラス。高校，大学卒では定年時点近くで部長クラスなど——

生活保障期間は、一般的には10年，15年ないし終身とする場合もないではないが，必ずしも，そうした方向で保障期間を延長しているという，はっきりした傾向はみられない。むしろ定年年齢の延長ないし定年後再雇用することによって，保障期間（あるいは退職後の余命年数）を短縮することを考える傾向が最近目立つようになってきた。

定年延長を不可とする要因のうち大きいのは人事と賃金である。前者は「仕事がない」「人事の停滞がひどくなる」，後者は「年功賃金・退職金額がかさむ」その他。すでに現行定年制が定着していることや定年後の人事処遇制度（嘱託制，勤務延長制等）が確定しているとする。

しかしここで社会的要請や能力の活用などの「積極面」を考えたい。これからの日本は高齢化・高学歴化で，若い労働者が相対的に減少することに対応して，高齢者の能力の有効発揮・活用が若年者層をも刺激する面を顧慮すべきである（表2，3）。

保障内容は家族数，退職後最初の5年間は3人（本人・配偶者・子1人），次の3年間は2人（本人，配偶者）を対象とすれば，一般の勤労者世帯の場合に較べ，労働度，消耗，交際その他が軽減されるから，それだけ減額（10～20％程度）されている。また生活内容は，定年退職時点の賃金に較べるとかなり低いものとなっていて一般的，平均的なものよりも低位となっている（表4）。

退職金を一時金で支給するとすれば，このような生活費を実際必要とする年月までの利子（退職一時金を預金すればつくもの）を見込んで算出する必要がある。（退職一時金を年金払いで生計費に充当すれば，いわゆる年金現価の算出をすることになる。）もっとも，この計算の前に，社会保険の給付（失業＝雇用＝保険および厚生年金保険）相当分を差し引いて考える場合もある。

これを簡単な仮定例にしたのが次の数値である。3人世帯の5年間の最低生活費を毎月7万円，2人世帯万円とする（この場合，就職の意思なしとして雇用保険の給付を受けず，厚生年金のみを受給するものとする）。これから利子相当分（一応6％とする）を差し引くものとした。

---

|                           |         |                        |                                |
|---------------------------|---------|------------------------|--------------------------------|
| 第1年目                      | 70,000円 | .....                  | 70,000円                        |
| 2                         | 70,000  | $\div (1+0.06)=66,038$ | .....70,000円 $\div (1+0.06)^1$ |
| 3                         | 66,038  | $\div (1+0.06)=62,000$ | .....70,000 $\div (1+0.06)^2$  |
| 4                         | 62,300  | $\div (1+0.06)=58,773$ | .....70,000 $\div (1+0.06)^3$  |
| 第5年目                      | 58,773  | $\div (1+0.06)=55,447$ | .....70,000 $\div (1+0.06)^4$  |
| 6                         | 40,000  | $\div (1+0.06)=37,736$ | .....40,000 $\div (1+0.06)^5$  |
| 7                         | 37,736  | $\div (1+0.06)=35,600$ | .....40,000 $\div (1+0.06)^6$  |
| 8                         | 35,600  | $\div (1+0.06)=33,585$ | .....40,000 $\div (1+0.06)^7$  |
| 9                         | 33,585  | $\div (1+0.06)=31,684$ | .....40,000 $\div (1+0.06)^8$  |
| 第10年目                     | 31,684  | $\div (1+0.06)=29,891$ | .....40,000 $\div (1+0.06)^9$  |
| 計480,754円 $\times 12$ (月) |         |                        |                                |
| =5,769,048円               |         |                        |                                |

---

この数値から逆にどの程度の退職金が、保障期間を何年にした場合に、どの程度の保障額になるかも分かる。

なお、「最低生計費の算定」の補稿として、学歴別にみた労働者の生涯賃金をつぎに推計してみた。労働者個々人の生計企画、企業の長期賃金計画樹立のために、本表は活用される分野が多い。

1960年代にアメリカを中心に「教育投資論」や「人的資本論」などが盛んになった。

教育の効果をそれを受けた個人について計測すやり方としては、Becker や Hansen などが行ったように、教育に要した費用に対する収益率 (rates of return) を求める方法や生涯所得 (賃金) を求める方法などがある。後者の例として Wilkinson が試みた生涯所得の現価額 (present values of lifetime incomes) を推計する方法があるから、ここでは Wilkinson が用いた方法で、わが国労働者の生涯賃金を学歴別に試算してみよう。

Wilkinson の方法は、ある年の学歴別年齢別賃金を基に、それを一定の割引率 (彼の場合 5%, 8%, 10% の 3 種類) で割引いて各歳時の年収額を求め、それを全就業期間について累計することにより、義務教育修了時点における生涯賃金を求めるというやり方である。その際、失業や死亡などによって所得が得られなくなる場合も考慮に入れて、各年齢における失業率および義務教育修了時から各年齢までの残存人口比率を用いて所得を調整している。また、所得税を控除した後の所得を用いており、退職年齢は 65 歳を仮定している。この方法を算式でみると、たとえば大学卒の生涯賃金現価額は、

$$PV = \sum_{22}^{65} \frac{Y_n \cdot W_n \cdot {}_n P_{22}}{(1+r)^{n-15}} - \sum_{15}^{17} \frac{C_n^1 \cdot {}_n P_{15}}{(1+r)^{n-15}} - \sum_{18}^{21} \frac{C_n^2 \cdot {}_n P_{18}}{(1+r)^{n-15}}$$

となる。ここで  $Y_n$  は  $n$  歳時の年収額、 $W_n$  は  $n$  歳時の (1-失業率)、 ${}_n P_{22}$ ,  ${}_n P_{15}$ ,  ${}_n P_{18}$  は 22 歳, 15 歳, 18 歳から  $n$  歳まで残存している者の割合である。また  $C_n^1$ ,  $C_n^2$  はそれぞれ

れ高等学校、大学に在学している  $n$  歳時の学費であり、 $r$  は割引率である。

表 5 は、ほぼこの考え方をういて試算したものであるが、いくつか異なる点がある。第 1 は、Wilkinson は学歴別、年齢別に賃金上昇率がほとんど差がないとして一時点の賃金を用いているものの、わが国の学歴別、年齢別賃金格差縮小傾向を考慮して、この試算においては、昭和 33 年から各年までの上昇率を用いて調整した。

第 2 に、失業率や残存人口比率が学歴とさほど密接な関係があるとも思われないことなどにより、この 2 つの要素は考慮に入れなかった。

第 3 に、Wilkinson は 65 歳まで労働可能とみてその年齢までの生涯賃金を求めているが、わが国の場合 55 歳を定年と定めている企業が多いことを考慮して、55 歳までの生涯賃金を求めた。したがって、この試算に用いた推計式は、次のとおりである。

$$\text{中学卒 } PV^1 = \sum_{15}^{54} \frac{Y_n^1}{(1+r)^{n-15}}$$

$$\text{高校卒 } PV^2 = \sum_{18}^{54} \frac{Y_n^2}{(1+r)^{n-15}} - \sum_{15}^{17} \frac{C_n^1}{(1+r)^{n-15}}$$

$$\text{大学卒 } PV^3 = \sum_{22}^{54} \frac{Y_n^3}{(1+r)^{n-15}} - \sum_{15}^{17} \frac{C_n^1}{(1+r)^{n-15}} - \sum_{18}^{21} \frac{C_n^2}{(1+r)^{n-15}}$$

ここで  $Y^1, Y^2, Y^3$  は  $n$  歳時における各学歴の年収額、 $C_n^1, C_n^2$  はそれぞれ  $n$  歳時における高校または大学の教育費であり、次の式によって求めた。

$$Y_n = E_n(1+\alpha)^{n-15}, \quad C_n = C_n^1(1+\beta_n)^{n-15}$$

$E_n$  はある年における  $n$  歳時の年収額、 $C_n^1$  はある年における  $n$  歳時の教育費、 $\alpha_n$  は昭和 33 年から推計した各年までの  $n$  歳時の定期的給与の上昇率を学歴別特性を考慮して調整して求めた上昇率、 $\beta_n$  は昭和 33 年から各年までの高校（公立）または大学（国立、私立の加重平均）授業料の上昇率である。

$r$  は割引率（現価換算率）であるが、ここでは 1 年もの定期預金金利が 6.75% であることを考慮して 7% とした。

この試算は、大学卒業者の就業分野が広範化していることを考慮して規模別に行った。表 5、6 中の数値は現価額自体は、あまり意味がないから、大学卒を 100 とした格差で示した。

なお、生涯賃金の計算には、ある年の学歴別、年齢階級別賃金額を学校卒業時から 55 歳時まで積み上げて求める方法もある。この方法によると、たとえば大学卒の生涯賃金は次式によって求められる。

$$PV = \sum_{22}^{54} Y_n$$

表 5 生涯賃金現価額の学歴別格差（製造業，男子）

| 年                 | 規模 1,000人以上 |            |            | 100～999人   |            |            |
|-------------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                   | 小 学<br>新中卒  | 旧 中<br>新高卒 | 旧 大<br>新大卒 | 小 学<br>新中卒 | 旧 中<br>新高卒 | 旧 大<br>新大卒 |
| (生涯賃金の格差)         |             |            |            |            |            |            |
| 昭 和 41 年          | 79.1        | 81.2       | 100.0      | 83.1       | 86.1       | 100.0      |
| 49                | 89.9        | 91.8       | 100.0      | 89.3       | 91.8       | 100.0      |
| (教育費を考慮した生涯賃金の格差) |             |            |            |            |            |            |
| 昭 和 41 年          | 80.4        | 82.6       | 100.0      | 84.6       | 87.8       | 100.0      |
| 49                | 90.4        | 92.2       | 100.0      | 89.8       | 92.3       | 100.0      |

資料出所：労働省「賃金構造基本統計」、文部省「父兄が支出した教育費」、「学生生活調査」、総理府統計局「消費者物価指数年報」

(注) 1) 就業期間は、小学，新中卒が15～54歳，旧中，新高卒が18～54歳，旧大，新大卒が22～54歳とした。

2) 50～54歳層の賃金は、資料の制約上41年は、50～59歳層の平均賃金を用いた。

3) 高校の教育費は、全日制高校（公立）の「生徒1人当たり父兄の支出した学校教育費」である。49年度の高校の教育費は、48年度のそれに消費者物価指数の「公立高校授業料」の上昇率を乗じて推定した。

4) 大学の教育費は、昼間部（国・公・私立）の学生1人当たり「学費」に入学金および施設設備費（文部省管理局振興課調べ）の国立・私立加重平均値を加えたものである。41年度は課外活動費が計上されていないため、45年度のそれを当該調査の「授業料」の上昇率で割引いて推計した。

これによって求めた生涯賃金から、教育に要した費用を差し引いて、教育費を考慮した生涯賃金を求めてみよう。その場合の教育費の合計額もある年における累計額である。表6は、この方法により生涯賃金を推計したものである。

## (2) 退職金の現状

以上述べたような、退職金受給条件を満たす労働者が退職した場合、どの程度の退職金が支払われるかについてみたのが表7である。この退職金＝モデル退職金＝は、正常に学校を卒業して、すぐ入社した者が、普通有能力で勤務した場合に、当該企業の退職金制度によりどの程度の退職一時金が支給されるか、をみたものである。

その支給水準をみると、産業計、製造業をとわず、年功序列的配分のため年齢、勤続年数の増加につれ退職金額は増加している。また大卒よりも高卒の方が高水準を示しているなどは、企業規模、産業の種類を通じ同傾向である。退職一時金と年金とを併給する事例についても、基本的には表7、8と同傾向を示している。

最近定年年齢延長の気運が醸成されつつあり、さらに定年時における労働者の労働能力にかなり個人差が認められることなどから、一律に定年後の取り扱いをきめておくよりも、

表6 生涯賃金の学歴別格差（製造業，男子）

| 項 目            | 昭 和 41 年   |            |            | 昭 和 45 年   |            |            | 昭 和 49 年   |            |            |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                | 小 学<br>新中卒 | 旧 中<br>新高卒 | 旧 大<br>新大卒 | 小 学<br>新中卒 | 旧 中<br>新高卒 | 旧 大<br>新大卒 | 小 学<br>新中卒 | 旧 中<br>新高卒 | 旧 大<br>新大卒 |
| 〔定期給与〕         |            |            |            |            |            |            |            |            |            |
| 金額（千円）         | 17,941.2   | 19,975.2   | 25,520.4   | 32,371.2   | 34,358.4   | 42,459.6   | 60,618.0   | 65,142.0   | 78,390.0   |
| 格差             | 70.3       | 78.3       | 100.0      | 76.2       | 80.9       | 100.0      | 77.3       | 83.1       | 100.0      |
| 〔特別給与〕         |            |            |            |            |            |            |            |            |            |
| 金額（千円）         | 3,454.7    | 4,849.1    | 9,244.3    | 7,117.9    | 9,337.6    | 16,707.6   | 14,748.0   | 18,548.7   | 22,980.4   |
| 格差             | 37.4       | 52.5       | 100.0      | 42.6       | 55.9       | 100.0      | 49.2       | 61.9       | 100.0      |
| 〔合 計〕          |            |            |            |            |            |            |            |            |            |
| 金額（千円）         | 21,395.9   | 24,824.3   | 34,764.7   | 39,489.1   | 43,696.0   | 59,167.2   | 75,366.0   | 83,690.7   | 108,370.4  |
| 格差             | 61.5       | 71.4       | 100.0      | 66.7       | 73.9       | 100.0      | 69.5       | 77.2       | 100.0      |
| 〔教育費〕          |            |            |            |            |            |            |            |            |            |
| 金額（千円）         | —          | 148.2      | 650.5      | —          | 206.7      | 861.4      | —          | 226.0      | 1,188.3    |
| 〔教育費を考慮した生涯賃金〕 |            |            |            |            |            |            |            |            |            |
| 金額（千円）         | 21,395.5   | 24,676.1   | 34,114.2   | 39,489.1   | 43,489.3   | 58,305.8   | 75,366.0   | 83,464.7   | 107,132.1  |
| 格差             | 62.7       | 72.3       | 100.0      | 67.7       | 74.6       | 100.0      | 70.3       | 77.9       | 100.0      |

資料出所：労働省「賃金構造基本統計」，文部省「父兄が支出した教育費」，「学生生活調査」，  
総理府統計局「消費者物価指指数年報」

（注）1）生涯賃金は，各年の学校卒業後から55歳までの定期給与と特別給与の累積額である。

2）表5 注1)～4) 参照。

（注1）Gary S. Becker, “*Human Capital, a Theoretical and Empirical Analysis with Special Reference to Education*”, New York: National Bureau of Economic Research, 1964.

W. Lee Hansen, “Total and Private Returns to Investment in Schooling”, *Journal of Political Economy*, LXXI (April, 1963)

（注2）Bruce W. Wilkinson, “Present Values of Lifetime Earnings for Different Occupations”, *Journal of Political Economy*, LXXIV (December 1966)

必要とする職務や個人的能力によって，その取り扱いをきめることも，十分考慮する必要がある。

生計費とは生活に要するコストであり，それは，物価水準，生活水準，世帯規模の3つによって規制される。いずれも生計費の高さをきめるが，前2者と世帯規模とでは生計費との結びつきにおいて性格が異なる。物価と生活水準は，あくまでライフのレベルに関するものであり，一方世帯規模はライフのサイクルにかかわり合うものである。賃金との関連でいうなれば，前2者の変化はベアー base up—を通して賃金に結びつき，世帯規模の変化は昇給を通して賃金に結びつく。したがって，昇給はライフサイクルビジョン（例示表9）をベースとして制度化され，それによって確実にライフサイクルの充足が果されるようにすることが適切である。高齢化の進む中で昇給制度がとくに重視されねばならない

表 7 モデル退職金（規模計）

（単位：千円）

| モデル条件        |             |                     | 調 査 産 業 計         |            |                            |                   |            |             |
|--------------|-------------|---------------------|-------------------|------------|----------------------------|-------------------|------------|-------------|
|              |             |                     | 退職金算定基礎給          |            |                            | 退 職 金 総 額         |            |             |
| 年齢<br>(歳)    | 勤続年数<br>(年) | 扶 養<br>家 族 数<br>(人) | 集計事<br>業所数<br>(社) | 算 定<br>基礎給 | 基準内賃<br>金に占め<br>る割合<br>(%) | 集計事<br>業所数<br>(社) | 退職金<br>総 額 | 支給月数<br>(月) |
| 大学卒，事務・技術，男子 |             |                     |                   |            |                            |                   |            |             |
| 25           | 3           | 1                   | 819               | 81.9       | 63.0                       | 945               | 132        | 1.0         |
| 30           | 8           | 2                   | 857               | 105.6      | 62.7                       | 992               | 592        | 3.5         |
| 40           | 18          | 3                   | 873               | 157.7      | 61.6                       | 1,015             | 2,880      | 11.3        |
| 50           | 27          | 2                   | 873               | 209.3      | 62.3                       | 1,015             | 6,833      | 20.4        |
| 55           | 32          | 1                   | 420               | 214.8      | 61.6                       | 473               | 10,959     | 31.6        |
| 高校卒，事務・技術，男子 |             |                     |                   |            |                            |                   |            |             |
| 20           | 2           | 0                   | 667               | 64.2       | 66.5                       | 809               | 69         | 0.7         |
| 25           | 7           | 1                   | 867               | 82.1       | 63.6                       | 1,041             | 390        | 3.0         |
| 30           | 12          | 2                   | 895               | 101.9      | 63.0                       | 1,072             | 1,022      | 6.3         |
| 40           | 22          | 3                   | 898               | 143.8      | 62.5                       | 1,076             | 3,555      | 15.5        |
| 50           | 33          | 2                   | 898               | 186.0      | 62.8                       | 1,076             | 7,479      | 25.3        |
| 55           | 38          | 1                   | 439               | 191.2      | 62.8                       | 504               | 10,660     | 35.2        |
| 高校卒，生産，男子    |             |                     |                   |            |                            |                   |            |             |
| 20           | 2           | 0                   | 440               | 64.5       | 66.4                       | 541               | 65         | 0.7         |
| 25           | 7           | 1                   | 557               | 82.0       | 64.7                       | 667               | 355        | 2.8         |
| 30           | 12          | 2                   | 565               | 99.2       | 65.0                       | 678               | 1,907      | 6.0         |
| 40           | 22          | 3                   | 565               | 133.7      | 65.7                       | 678               | 2,964      | 14.7        |
| 50           | 33          | 2                   | 565               | 166.6      | 66.7                       | 678               | 5,882      | 23.8        |
| 55           | 38          | 1                   | 261               | 168.6      | 67.3                       | 294               | 8,660      | 35.0        |
| 中学卒，生産，男子    |             |                     |                   |            |                            |                   |            |             |
| 18           | 3           | 0                   | 382               | 59.3       | 67.6                       | 456               | 79         | 0.0         |
| 22           | 7           | 0                   | 457               | 72.5       | 68.4                       | 557               | 301        | 2.9         |
| 25           | 10          | 1                   | 491               | 82.1       | 65.7                       | 599               | 582        | 4.7         |
| 30           | 15          | 2                   | 505               | 97.6       | 65.8                       | 615               | 1,233      | 8.4         |
| 40           | 25          | 3                   | 505               | 126.4      | 66.3                       | 615               | 3,471      | 18.4        |
| 50           | 36          | 2                   | 505               | 153.1      | 67.2                       | 615               | 6,299      | 28.0        |
| 55           | 41          | 1                   | 298               | 155.4      | 68.7                       | 338               | 8,529      | 38.0        |

資料：「日本生産性本部52年度，生産性モデル総合賃金調査」表 8 も同出所

表 8 モデル退職一時金の規模間格差

| 勤 続   | 49 人 以 下  |     | 50 ～ 99 人 |     | 100 ～ 299 人 |     |
|-------|-----------|-----|-----------|-----|-------------|-----|
|       | 退職一時金     | 指 数 | 退職一時金     | 指 数 | 退職一時金       | 指 数 |
| 中 学 卒 | (自己都合)    |     |           |     |             |     |
| 5     | 163,000   | 100 | 183,000   | 112 | 168,000     | 103 |
| 10    | 500,000   | 100 | 569,000   | 114 | 538,000     | 108 |
| 20    | 1,726,000 | 100 | 2,246,000 | 130 | 2,033,000   | 118 |
| 30    | 3,607,000 | 100 | 4,789,000 | 133 | 4,625,000   | 128 |
| 高 校 卒 |           |     |           |     |             |     |
| 5     | 217,000   | 100 | 214,000   | 99  | 232,000     | 107 |
| 10    | 657,000   | 100 | 670,000   | 102 | 709,000     | 108 |
| 20    | 2,257,000 | 100 | 2,529,000 | 107 | 2,686,000   | 114 |
| 30    | 4,954,000 | 100 | 5,368,000 | 108 | 5,988,000   | 121 |
| 大 学 卒 |           |     |           |     |             |     |
| 5     | 292,000   | 100 | 302,000   | 103 | 291,000     | 100 |
| 10    | 903,000   | 100 | 887,000   | 98  | 879,000     | 97  |
| 20    | 3,173,000 | 100 | 3,189,000 | 101 | 3,415,000   | 108 |
| 30    | 6,566,000 | 100 | 6,840,000 | 104 | 7,488,000   | 114 |
| 勤 続   | 49 人 以 下  |     | 50 ～ 99 人 |     | 100 ～ 299 人 |     |
|       | 退職一時金     | 指 数 | 退職一時金     | 指 数 | 退職一時金       | 指 数 |
| 中 学 卒 | (会社都合)    |     |           |     |             |     |
| 5     | 241,000   | 100 | 284,000   | 118 | 247,000     | 102 |
| 10    | 687,000   | 100 | 799,000   | 116 | 726,000     | 106 |
| 20    | 2,140,000 | 100 | 2,728,000 | 127 | 2,381,000   | 111 |
| 30    | 4,254,000 | 100 | 5,543,000 | 130 | 5,072,000   | 119 |
| 高 校 卒 |           |     |           |     |             |     |
| 5     | 316,000   | 100 | 325,000   | 103 | 344,000     | 109 |
| 10    | 816,000   | 100 | 920,000   | 105 | 970,000     | 111 |
| 20    | 2,807,000 | 100 | 3,071,000 | 109 | 3,209,000   | 114 |
| 30    | 5,631,000 | 100 | 6,233,000 | 111 | 6,699,000   | 119 |
| 大 学 卒 |           |     |           |     |             |     |
| 5     | 439,000   | 100 | 453,000   | 103 | 414,000     | 94  |
| 10    | 1,210,000 | 100 | 1,209,000 | 100 | 1,145,000   | 95  |
| 20    | 3,835,000 | 100 | 3,891,000 | 101 | 3,968,000   | 103 |
| 30    | 7,516,000 | 100 | 7,894,000 | 105 | 8,298,000   | 110 |

是 佐 忠 男

理由がそこにある。

つぎに、年功賃金の修正にあたっては、たとえば職務・職能給に生活給を併せて基本給を構成するという在り方が当面は求められて然るべきである。この際の生活給は、水準が問題ではなくエンゲル Engel 係数60%など活用余地はないか、年齢別生計費カーブが判断基準になる。いま総理府統計局の家計調査によって、昭和52年1ヵ月平均年齢別生計費変化をみると45～49歳層の消費支出は231,505円、50～54歳層239,813円となっており、この2つの層がほぼ同じレベルでピークをなしている。つまり45～49歳の5年間をほぼフラットな頂きとした山型のカーブが現在の生活費カーブの形だといえる。とすると、年齢給を設定するとして、それは45～49歳層のいずれかの年齢がポイントで昇給停止、そして55歳以後でマイナス昇給といった在り方が妥当しよう。このような形の年齢給の上に、職務給や職能給を上積みして一定の水準を保つように配意されるべきであろう。

厚生省の人口動態統計によると、平均婚姻年齢は、昭和52年は男子27.4歳、女子25.0歳となっている。昭和30年当時は、男子26.6歳、女子23.6歳であったから、それに比べると男子が0.8歳、女子が1.4歳伸びたことになる。結婚後第1子出生までの期間は約1.8年、世帯人員数としては40～44歳層で4人世帯が全体の42%で最も多く、ついで21%が5人世帯となっている。核家族世帯は、昭和30年当時の45%から昭和52年には59%に増えてきている。

表10は費目別に家計支出をみたものであるが、費目別にライフサイクルステージ別の生計費の変化をみると、ピークは食料費が40～44歳層、光熱費が45～49歳層、住居・被服・雑費・非消費支出の4者が50～54歳層となっている。60歳以上層では消費性向も80%を越え、それと相対的に貯蓄性向が50歳台未満よりも低位にある。

それに何よりもエンゲル係数で、45～59歳層の25～27%に比べ、60歳以上層では30%を越えているなど、これからの賃金体系、退職一時金、年金制度を検討するに際し、とくに留意すべきである点を強調しておきたい。なお60～64歳層の生計費は30～34歳層の生計費とはほぼ同一水準にある。65歳以上層が21～29歳層と同じレベルにあり、また世帯当りの有業人員数は、50～54歳層の1.9人が最も多く、住居費は上述のように50～54歳層がピークだが、一方住居の所有別に1ヵ月当り住居費をみると民営借家が27,696円で最高、順次、借間の19,731円、公営借家の16,935円、持家15,988円となっている。

消費支出の中に占める割合も同じ順序で15.5%、12.4%、9.8%、7.6%、7.5%と低下している。給与借家の場合、絶対額でみても消費支出の中に占める割合でみても、明らかに他より負担が低いことが判る。年齢階層別の消費支出の動向は、賃金体系の近代化のみならず、退職金額算定のための基礎資料としても十分検討しなければならない問題である。

表9 ライフサイクルに基づいた生活保護基準の試算（居宅の場合、月額）

〔昭和53年9月改定〕

（単位：円）

| 設 定 条 件 |     |     |     |     | 基準生活費（居宅） |        |       | 住宅扶助  | 教育扶助  | 勤 労    | 合 計 額   |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----------|--------|-------|-------|-------|--------|---------|
| 世帯主     | 妻   | 第1子 | 第2子 | 第3子 | 第1類       | 第 2 類  |       | 基 準 額 | 基 準 額 | 基礎控除   |         |
|         |     |     |     |     |           | 基準額    | 冬季加算  |       |       |        |         |
| 1 級 地   |     |     |     |     |           |        |       |       |       |        |         |
| 15歳     |     |     |     |     | 28,850    | 15,730 | 558   | 9,000 |       | 16,930 | 71,068  |
| 20      |     |     |     |     | 24,860    | 15,730 | 558   | 9,000 |       | 16,930 | 67,078  |
| 25      |     |     |     |     | 24,860    | 15,730 | 558   | 9,000 |       | 16,930 | 67,078  |
| 27      | 25歳 |     |     |     | 45,910    | 17,950 | 704   | 9,000 |       | 16,930 | 90,494  |
| 30      | 28  | 1歳  |     |     | 58,410    | 20,140 | 850   | 9,000 |       | 16,930 | 105,330 |
| 35      | 33  | 6   | 3歳  |     | 79,770    | 22,280 | 996   | 9,000 | 1,280 | 16,930 | 130,256 |
| 40      | 38  | 11  | 8   | 4歳  | 100,680   | 24,370 | 1,142 | 9,000 | 2,560 | 16,930 | 154,682 |
| 45      | 43  | 16  | 13  | 9   | 118,870   | 24,370 | 1,142 | 9,000 | 3,860 | 16,930 | 174,172 |
| 2 級 地   |     |     |     |     |           |        |       |       |       |        |         |
| 15歳     |     |     |     |     | 26,250    | 14,310 | 504   | 9,000 |       | 16,930 | 66,994  |
| 20      |     |     |     |     | 23,620    | 14,310 | 504   | 9,000 |       | 16,930 | 63,364  |
| 25      |     |     |     |     | 23,620    | 14,310 | 504   | 9,000 |       | 16,930 | 63,364  |
| 27      | 25歳 |     |     |     | 41,780    | 16,340 | 638   | 9,000 |       | 16,930 | 84,688  |
| 30      | 28  | 1歳  |     |     | 53,160    | 18,320 | 771   | 9,000 |       | 16,930 | 98,181  |
| 35      | 33  | 6   | 3歳  |     | 72,600    | 20,270 | 904   | 9,000 | 1,280 | 16,930 | 120,984 |
| 40      | 38  | 11  | 8   | 4歳  | 91,630    | 22,180 | 1,038 | 9,000 | 2,560 | 16,930 | 143,338 |
| 45      | 43  | 16  | 13  | 9   | 108,170   | 22,180 | 1,038 | 9,000 | 3,860 | 16,930 | 161,178 |
| 3 級 地   |     |     |     |     |           |        |       |       |       |        |         |
| 15歳     |     |     |     |     | 23,660    | 12,900 | 454   | 5,000 |       | 15,910 | 57,924  |
| 20      |     |     |     |     | 20,390    | 12,900 | 454   | 5,000 |       | 15,910 | 54,654  |
| 25      |     |     |     |     | 20,390    | 12,900 | 454   | 5,000 |       | 15,910 | 54,654  |
| 27      | 25歳 |     |     |     | 37,650    | 14,730 | 575   | 5,000 |       | 15,910 | 73,865  |
| 30      | 28  | 1歳  |     |     | 47,900    | 16,520 | 696   | 5,000 |       | 15,910 | 86,026  |
| 35      | 33  | 6   | 3歳  |     | 65,410    | 18,270 | 817   | 5,000 | 1,280 | 15,910 | 106,687 |
| 40      | 38  | 11  | 8   | 4歳  | 82,560    | 19,990 | 938   | 5,000 | 2,560 | 15,910 | 126,958 |
| 45      | 43  | 16  | 13  | 9   | 97,480    | 19,990 | 938   | 5,000 | 3,860 | 15,910 | 143,178 |

資料出所：厚生省「生活保護手帳」78年版（原資料をもとに、筆者が独自に設定条件を設けて試算したもの）。

- （注） 1 設定条件では、世帯主は日雇労働者、それ以外は無職。子供は男子とした。年齢でみると、27歳で結婚し、29歳で第1子、32歳で第2子、36歳で第3子を生んだと仮定した場合のもの。
- 2 保護基準の項目は、毎月定期的に支給されるものを中心とした。
- 3 居宅第2類の地区別冬季加算額は11月～3月までの5カ月間支給されるが、ここでは、支給総額を12カ月で割って1カ月平均額を算出。なお地区区分はⅥ区とした。
- 4 勤労に伴う基礎控除額は、職種区分2（日雇など）で1カ月21日以上勤労した場合のものとした。
- 5 上記基準額のほか、学校給食費、通学のための交通費等の実費が支給される。収入から社会保険料、労働組合費、通勤費等の実費が控除されており、上記基準額は「手取額」である。
- 6 地域区分は以下の通りである。
- 1級地 北海道：札幌市、江別市。埼玉県：川口市、浦和市など11市。千葉県：千葉市、市川市など5市。東京都：区部、八王子市、立川市など23市。神奈川県：横浜市、川崎市など14市、および三浦郡葉山町。滋賀県：大津市。愛知県：名古屋市。京都府：京都市など4市。大阪府：大阪市、堺市など24市、および泉北郡忠岡町。兵庫県：神戸市など9市。岡山県：岡山市、倉敷市。広島県：広島市など3市、および佐伯郡五日市町。福岡県：福岡市、北九州市。
- 2級地 1級地以外の県庁所在都市などの主要都市および主要な郡の町。
- 3級地 1級地、2級地以外の市町村。

是 佐 忠 男

〔冬季加算額の地区区分〕 「Ⅰ区」は北海道，青森県，秋田県，「Ⅱ区」は岩手県，山形県，新潟県，  
「Ⅲ区」は宮城県，福島県，富山県，長野県，「Ⅳ区」は石川県，福井県，「Ⅴ区」は栃木県，群馬  
県，山梨県，岐阜県，鳥取県，島根県，「Ⅵ区」はその他の都府県となっている。

表10 世帯主の年齢階級別家計（全国，勤労者世帯）

昭和52年1ヵ月平均

単位：円

| 費 目       | ～24歳    | ～29歳    | ～34歳    | ～39歳    | ～44歳    | ～49歳    | ～54歳    | ～59歳    | ～64歳    | 65歳～    |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 集 計 世 帯 数 | 73      | 583     | 899     | 987     | 867     | 765     | 558     | 306     | 179     | 110     |
| 家族人員（人）   | 2.89    | 3.31    | 3.84    | 4.18    | 4.22    | 3.88    | 3.56    | 3.15    | 3.18    | 3.06    |
| 世帯主の年齢（歳） | 22.7    | 27.5    | 32.2    | 36.9    | 41.9    | 46.9    | 56.7    | 56.7    | 61.8    | 68.3    |
| 実 収 入     | 179,366 | 223,284 | 251,751 | 272,956 | 299,041 | 336,744 | 366,983 | 320,823 | 238,695 | 255,195 |
| 消 費 支 出   | 137,659 | 164,053 | 175,210 | 190,394 | 208,843 | 231,505 | 239,813 | 206,929 | 174,110 | 168,369 |
| 食 料 費     | 41,097  | 47,387  | 53,105  | 60,415  | 65,364  | 63,634  | 60,051  | 55,816  | 53,563  | 49,555  |
| 住 居 費     | 22,482  | 20,651  | 19,121  | 17,376  | 18,269  | 18,839  | 20,478  | 17,892  | 7,774   | 7,394   |
| 光 熱 費     | 6,068   | 6,479   | 7,078   | 7,372   | 8,081   | 8,586   | 8,547   | 8,085   | 14,995  | 11,787  |
| 被 服 費     | 11,456  | 14,260  | 16,121  | 17,873  | 22,071  | 23,768  | 25,533  | 20,339  | 82,716  | 85,281  |
| 雑 費       | 56,557  | 75,277  | 79,784  | 87,358  | 95,059  | 116,678 | 125,205 | 104,797 | 23,838  | 85,281  |
| 非消費支出     | 12,688  | 20,017  | 23,674  | 25,839  | 30,123  | 37,982  | 46,461  | 39,427  | 23,838  | 17,708  |
| 平均消費性向(%) | 82.6    | 80.7    | 76.8    | 77.0    | 77.7    | 77.5    | 74.8    | 73.5    | 81.0    | 81.1    |
| 平均貯蓄性向(%) | 12.8    | 12.9    | 14.1    | 14.5    | 13.8    | 15.9    | 15.0    | 16.3    | 14.6    | 12.8    |

資料出所：総理府統計局「家計調査年報」（昭和52年）

## ライフサイクルビジョンの大きなフレーム・ワーク

| 世帯<br>人員 | 世帯員の年齢 |    |    |    | 主要事項                                              | 住 宅                  | 教 育             | 主要耐久消費材                                                                                                                                                                                                                                                                                              | レジャー・娯楽<br>(年間回数, ( ) 内は妻)                                                                                                                                                                                                    |  |
|----------|--------|----|----|----|---------------------------------------------------|----------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|          | 夫      | 妻  | 長男 | 長女 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 単<br>身   | 18     |    |    |    | 就 職<br>・常勤生<br>産労働<br>・作業度<br>普 通<br>・週 休<br>2 日制 | 民 間<br>アパ ー ト<br>1DK | 長男, 長女<br>私立幼稚園 | ・冷蔵庫(電気)<br>・洗濯機(電気)<br>・カラーテレビ<br>・カメラ, ステレオ<br>・自 動 車<br>・電気掃除機<br>・ミシン<br>・タンス<br>・三面鏡<br>・食卓セット<br>・食卓<br>・自転車<br>略                                                                                                                                                                              | ・みるスポーツ 5<br>・するスポーツ 10<br>・海水浴, プール 2<br>・ハイキング 2<br>・1泊2日旅行 2<br>・5泊6日旅行 1<br>・映画・観劇 4(4)<br><br>(4人世帯以降)<br>・映画・観劇 3(3)<br>・みるスポーツ 3(1)<br>・動物園・遊園地 7(6)<br>・するスポーツ 8(7)<br>・ハイキング 3(3)<br>・小旅行 2(2)<br>・大旅行 1(1)<br><br>略 |  |
|          | 19     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 20     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 21     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 22     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 23     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 24     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 25     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 26     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 27     |    |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 2<br>人   | 28     | 25 |    |    | 結 婚                                               | 公 団<br>2DK           | 公立小, 中<br>学校    | 略                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 29     | 26 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 30     | 27 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 3<br>人   | 31     | 28 | 0  |    | 長男誕生                                              |                      | 公立高校            | 略                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 32     | 29 | 1  |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 33     | 30 | 2  |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 4<br>人   | 34     | 31 | 3  | 0  | 長女誕生<br><br>持家取得持 家<br>4LDK                       |                      | 長男<br>私立大学      | ・ルーム・クーラー<br>・応接セット<br>・サイドボード<br>・ピアノ<br>・つり道具<br>・テープレコーダー<br>・じゅうたん<br>略                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 35     | 32 | 4  | 1  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 36     | 33 | 5  | 2  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 37     | 34 | 6  | 3  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 38     | 35 | 7  | 4  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 39     | 36 | 8  | 5  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 40     | 37 | 9  | 6  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 41     | 38 | 10 | 7  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 42     | 39 | 11 | 8  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 43     | 40 | 12 | 9  |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 44     | 41 | 13 | 10 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 45     | 42 | 14 | 11 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 46     | 43 | 15 | 12 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 47     | 44 | 16 | 13 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 48     | 45 | 17 | 14 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 49     | 46 | 18 | 15 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 3<br>人   | 50     | 47 |    | 16 | 長男 男<br>寮生活<br><br>長女同居                           |                      | 長女<br>私立短大      | 〈食生活〉<br>・成人男子1人1日当り標準食費 520円<br>(栄養量をみだし, 比較的バラエティに富んだ食生活とする)<br>・嗜好食品(4人世帯) 酒 類 4,000円<br>飲料 3,000円 菓子類 6,000円<br>〈衣生活4人世帯〉<br>(夫) (妻)<br>背 広 (合) 3 スーツ (合) 4<br>" (夏) 2 " (夏) 1<br>礼 服 1 礼装衣 1<br>替 上 着 1 ワンピース (合) 2<br>替ズボン (合) 2 スカート 6<br>(夏) 2 パンタロン 1<br>和 服 1 スラックス 1<br>ホームドレス 3<br>和 服 2 |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 51     | 48 |    | 17 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 52     | 49 |    | 18 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 53     | 50 |    | 19 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 54     | 51 |    | 20 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 55     | 52 |    | 21 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 56     | 53 |    | 22 |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 2<br>人   | 57     | 54 |    |    | 長男就職<br>別居<br>長女結婚<br>定年退職<br>老 後                 |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 58     | 55 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 59     | 56 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 60     | 57 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 61     | 58 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 62     | 59 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 63     | 60 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|          | 64     | 61 |    |    |                                                   |                      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                               |  |

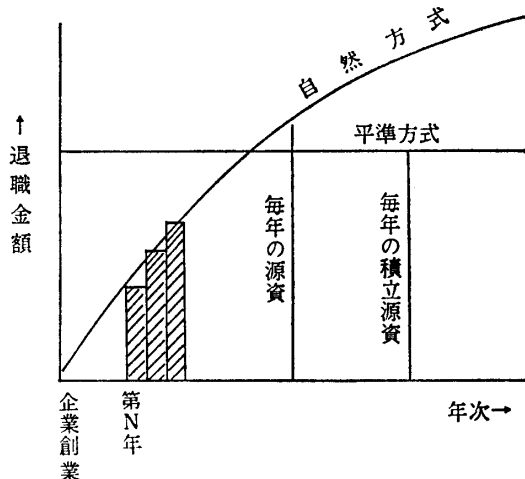
(備考) 自社の賃金水準など対比し実額を検討すること。

是 佐 忠 男

### (3) 退職一時金のきめ方

#### 退職金源資の計算方法

一時金、年金をとわず退職金は、一般の賃金の場合とは異なり、将来の不確定な時期に支払いが始められる。したがって、健全な保険数理の上に立って、企業経営、財政の長期的見通しのもとに財源計画を立てる必要がある。



保険数理によるものとしては ① 自然方式 ② 平準方式の2つがある。

自然方式とは、通常自然保険料方式または賦課保険方式ともいわれるもので、その考え方は「企業において支出される退職金総額は、年とともに増加していく傾向にある。退職金源資もそれに見合うよう歩調を合わせて逐次増額し確保していこう」とするものである。

また、平準方式は、平準保険料方式ともいわれるもので、その考え方は「毎年どれ

だけの積立金を源資として確保したら、それが退職金支払い財源となり得るか」と考えるものである。

その差異を、横軸を年次に、縦軸を退職金支払い額として目盛って企業創業時から退職金支払い額をグラフにしたものが上図である。

## 2. 退職金・退職年金の算定

退職金額、退職金制度を設定するに際しては、退職金額をいくらにすることというのが重要な問題となるが、この問題は基準となる退職労働者に支払う退職金額すなわち基準退職金額の算定および、その基準額を基礎とした各勤続年数別の支給額の算定という、2つの問題に分けてみなければならない。まず、基準退職金額の算定についてみよう。

基準退職金とは、ある一定の基準となる退職労働者に支払う退職金であるが、これは一般に正規に入社した労働者が定年で退職するときの退職金額をとるのが普通である。ただ正規入社者にしても大学卒も、高校卒も、中学卒もあり、これについては当該企業で最も多い属性をもつ労働者を選ぶのが一般的である。たとえば、金属加工業であれば男子の小・中学卒者、金融業なら男子旧中・高卒者というように、その企業の実態に応じて選ぶべきである。

算定方法としては

- イ 生計費に基づくもの
- ロ 同種他企業の退職金水準に基づくもの
- ハ 自社の賃金に基づくもの
- ニ 自社の貯蓄額に基づくもの

等が挙げられるが、一般にはイ、ロの方法が多く用いられているから、ここでもその方法について述べてみたい。

イ 生計費に基づくもの

この方法は、現在ある部派に属する労働組合の退職金要求等によくみられ、その性格は定年退職者の老後の一定期間の生活を保障するという考え方に基づくものである。したがってこの方式で算出する場合には、次の事項を考慮しなければならない。

① 生活保障期間

生活保障期間には、5年、10年、15年、平均余命年数、終身等があるも、そのいずれを選ぶか問題となる。

② 保障生活水準

保障生活水準の決定に当っては

- a 生活保障の範囲
- b 生活水準設定の基礎を理論生計費とするか、実態生計費にするか
- c 生計費は最低生計費とするか、標準生計費にするか

等々問題になる。

③ 社会保険給付金との調整

退職後、雇用保険金の給付が最高300日分（雇用保険法第22条＝55歳以上300日分、45歳～54歳240日分、30歳～44歳180日分、30歳未満90日分）ある。また、厚生年金保険の給付は、被保険者が60歳以上死亡時まで、以後は遺族に一定の割合で減額されるにしても遺族年金は支給される。

④ 退職所得に対する課税

退職所得に対する課税は、特別控除後（法第44条、45条）の金額の1/2が課税対象になるから、あらかじめ所得税などを考慮しなければならない。

〔例〕 18歳で入社した者が、昭和38年1月1日で55歳になり、定年退職した。この場合生計費に基づく退職金を求めよ。なお、算出に当たっての条件は次のとおりとする。

生活保障期間は、本人および妻死亡までとし、生存年間は平均余命表による。1年未満については切り上げるものとする。保障生活水準は、人事院標準生計費（昭和38年4月）により算出するものとするが、食料費については20%、被服費、雑費については50%減とする。家族構成は、夫と妻とし、子女は経済的に独立したものとする。夫と妻との年齢差は3歳とする。

是 佐 忠 男

〔答〕

退職時妻の年齢は55歳－3歳＝52歳であるから、保障期間は平均余命表により

本人 19年 妻 25年となる。

次に人員別の1ヵ月当り生計費を求めると、

世帯員1人の場合

食料費 5,520円×0.8＝4,416円

住居光熱費 2,180円×1.0＝2,180円

被服費 1,160円×0.5＝580円

雑費 3,640円×0.5＝1,820円

計 8,996円

世帯員2人の場合

食料費 9,810円×0.8＝7,848円

住居光熱費 3,720円×1.0＝3,720円

被服費 2,140円×0.5＝1,070円

雑費 8,590円×0.5＝4,295円

計 16,933円

となり、これを年額に換算すると、

世帯員1人の場合

8,996円×12＝107,952円

世帯員2人の場合

16,933円×12＝203,196円

となる。したがって必要な総生計費は

203,196円×19＋107,952円×6（夫死亡後妻の余命年数、25年－19年）＝4,508となり、総額では2,472,735円となる。

退職者には、雇用保険および厚生年金保険の給付があるから、この分の年金現価を求め、先に

厚生省簡易生命表（余命）

| 年齢 | 男     | 女     |
|----|-------|-------|
| 0  | 65.84 | 70.70 |
| 40 | 31.01 | 34.84 |
| 50 | 22.31 | 25.89 |
| 51 | 21.49 | 25.03 |
| 52 | 20.68 | 24.18 |
| 53 | 19.88 | 23.33 |
| 54 | 19.10 | 22.49 |
| 55 | 18.33 | 21.66 |
| 56 | 17.57 | 20.84 |
| 57 | 16.83 | 20.03 |
| 58 | 16.10 | 19.22 |
| 59 | 15.38 | 18.42 |
| 60 | 14.68 | 17.64 |

求めた退職金額から控除しなければならない。

雇用保険の給付日額を最高の700円とすると（法第16～19条）

700円×270（日分）＝189,000円

なお、雇用保険金は定年退職の場合、給付制限を伴わないものとして取り扱くと1年以内に給付が完了するから年金現価の計算は省略する。厚生年金は60歳以後、本人死亡まで老齢年金の、その後妻死亡まで遺族年金の給付がある。

基本年金額の計算は、被保険者期間中の各年月の標準報酬月額が基礎となる（厚生年金法第34条）。被保険者期間中常に標準報酬月額が最高額であったものと仮定する。昭和17年6月～23年7月（標準報酬月額が3,000円未満である場合は、これを3,000円として計算する）。

3,000円×73＝219,000円

昭和23年8月～29年4月 8,000円×69＝552,000円

昭和29年5月～35年4月  $1,800円 \times 72 = 1,296,000円$

昭和35年5月～37年12月  $3,600円 \times 32 = 1,152,000円$

計 246ヵ月 3,219,000円

よって、平均標準報酬月額

$$3,219,000円 \div 246 = 13,085円$$

となり、基本年金額は

$$24,000円 + 13,085円 \times \frac{6}{1,000} \times 246 = 43,313円$$

となる。よって老齢年金および遺族年金はそれぞれ

$$43,313円 + 4,800円 = 48,113円$$

$$\left(43,313円 \times \frac{1}{2}\right) + 4,800円 = 26,457円$$

である。老齢年金は受給開始が満60歳であるが、設例の場合は、昭和38年1月で満55歳であるから、生年月日は明治41年1月1日であり、したがって厚生年金保険法附則第9条により受給開始は満57歳となる。よって定年退職2年後から17年間老齢年金、以後6年間遺族年金が支給されるものとして、年金現価を求めると

$$\text{老齢年金} \quad 48,113円 \times (11.1581 - 1.8334) = 448,639円$$

$$\text{遺族年金} \quad 26,457円 \times (12.7834 - 11.1581) = 43,001円$$

$$\text{合 計} \quad 491,640円$$

となる。したがって退職金支給額は

$$2,472,735円 - 189,000円 - 491,640円 = 1,792,095円$$

になるが、正味の額として、この額が保障されねばならない。

そのためには、次のようにして、税込み額を計算する必要がある。

(a) 特別控除額

$$40歳未満 \quad 30,000円 \times (40 - 18) = 660,000円$$

$$40歳以上50歳未満 \quad 40,000円 \times 10 = 400,000円$$

$$50歳以上 \quad 50,000円 \times 5 = 250,000円$$

$$\text{計} \quad 1,310,000円$$

(b) 税込み額

$$x = 1,792,095円 + \left[ \left\{ (x - 1,310,000) \times \frac{1}{2} \right\} \times 0.15 - 12,000 \right]_{\text{所得税}}$$

$$+ \left[ \left\{ (x - 1,310,000) \times \frac{1}{2} \right\} \times 0.05 - 1,500 \right]_{\text{地方税}}$$

$$= 1,830,661 \div 1,830,000円$$

ここで1,310,000円は、特別控除額、{ }内は税法上の退職所得額、0.15および0.05はそれぞれ所得税（200,000円を越える金額）および地方税（150,000円を越える金額）の税率をしめし、12,000円および1,500円は、所得税の200,000円以下地方税の150,000円以下の金額に対する調整額である。

ロ 同業他企業の退職金水準に基づくもの

企業の退職金支給額を統計的にみると、産業別、規模別に一般的な水準のあることが認められる。そこでこの水準を目標にして退職金の支給額を決定しようとするのがこの方式

是 佐 忠 男

離職事由，性，労働者の種類，学歴および勤続年数別退職金支給額  
定年扱い (資本金 1 億円以上，従業員1,000人以上)

| 項 目 |         | 社数  | 5 年     |          | 7 年     |          | 10 年    |          | 15 年    |          |
|-----|---------|-----|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|
|     |         |     | 金 額     | 月収<br>換算 | 金 額     | 月収<br>換算 | 金 額     | 月収<br>換算 | 金 額     | 月収<br>換算 |
| 男   | 職 員     |     | 円       |          | 円       |          | 円       |          | 円       |          |
|     | 旧 大，新大卒 | 294 | 100,073 | 4.1      | 169,423 | 6.1      | 338,381 | 9.6      | 791,022 | 16.2     |
|     | 旧高専，短大卒 | 247 | 81,713  | 4.2      | 141,700 | 6.3      | 283,719 | 9.7      | 660,523 | 16.2     |
|     | 旧 中，新高卒 | 80  | 64,413  | 4.2      | 111,684 | 6.2      | 218,319 | 11.1     | 505,609 | 16.7     |
|     | 作 業 員   |     |         |          |         |          |         |          |         |          |
| 子   | 旧 中，新高卒 | 73  | 60,473  | 4.1      | 102,333 | 6.1      | 193,800 | 9.4      | 413,008 | 16.9     |
|     | 旧高小，新中卒 | 205 | 50,024  | 4.1      | 87,328  | 6.1      | 164,010 | 9.5      | 366,038 | 15.9     |
| 女   | 職 員     |     |         |          |         |          |         |          |         |          |
|     | 旧 中，新高卒 | 69  | 63,744  | 4.1      | 92,008  | 6.1      | 174,411 | 10.0     | 450,030 | 17.9     |
|     | 作 業 員   |     |         |          |         |          |         |          |         |          |
|     | 旧 中，新高卒 | 47  | 57,291  | 4.3      | 94,418  | 6.6      | 178,924 | 10.7     | 321,193 | 16.4     |
| 子   | 旧高小，新中卒 | 157 | 42,812  | 4.0      | 72,720  | 6.0      | 134,322 | 9.9      | 291,170 | 16.8     |

| 項 目 |         | 社数  | 20 年      |          | 25 年      |          | 30 年      |          | 35 年      |          |
|-----|---------|-----|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
|     |         |     | 金 額       | 月収<br>換算 | 金 額       | 月収<br>換算 | 金 額       | 月収<br>換算 | 金 額       | 月収<br>換算 |
| 男   | 職 員     |     | 円         |          | 円         |          | 円         |          | 円         |          |
|     | 旧 大，新大卒 | 294 | 1,562,819 | 25.0     | 2,696,792 | 34.5     | 3,969,003 | 44.7     | 4,323,065 | 46.3     |
|     | 旧高専，短大卒 | 247 | 1,326,714 | 24.7     | 2,304,750 | 34.7     | 3,482,449 | 44.7     | 4,365,886 | 49.7     |
|     | 旧 中，新高卒 | 80  | 996,823   | 24.8     | 1,685,095 | 33.6     | 2,558,053 | 43.1     | 3,236,934 | 47.8     |
|     | 作 業 員   |     |           |          |           |          |           |          |           |          |
| 子   | 旧 中，新高卒 | 73  | 785,654   | 25.4     | 1,296,418 | 30.1     | 1,829,186 | 45.4     | 2,191,842 | 47.5     |
|     | 旧高小，新中卒 | 205 | 699,165   | 24.1     | 1,170,490 | 33.4     | 1,727,153 | 43.4     | 2,145,510 | 49.5     |
| 女   | 職 員     |     |           |          |           |          |           |          |           |          |
|     | 旧 中，新高卒 | 60  | 728,526   | 27.2     | 994,966   | 29.5     | 1,512,263 | 43.7     | 1,926,394 | 48.0     |
|     | 作 業 員   |     |           |          |           |          |           |          |           |          |
|     | 旧 中，新高卒 | 47  | 601,540   | 24.5     | 803,602   | 31.1     | 1,069,474 | 37.5     | 1,454,908 | 46.1     |
| 子   | 旧高小，新中卒 | 157 | 515,614   | 25.9     | 793,301   | 34.4     | 1,139,737 | 45.6     | 1,475,397 | 50.3     |

退職一時金・年金制度

自己都合

| 項 目 |          | 社数  | 5 年    |          | 7 年    |          | 10 年    |          | 15 年    |          |
|-----|----------|-----|--------|----------|--------|----------|---------|----------|---------|----------|
|     |          |     | 金 額    | 月収<br>換算 | 金 額    | 月収<br>換算 | 金 額     | 月収<br>換算 | 金 額     | 月収<br>換算 |
| 男   | 職 員      |     | 円      |          | 円      |          | 円       |          | 円       |          |
|     | 旧 大, 新大卒 | 297 | 52,265 | 2.2      | 88,014 | 3.2      | 200,612 | 5.7      | 624,413 | 12.9     |
|     | 旧高専, 短大卒 | 250 | 50,852 | 2.4      | 87,816 | 4.0      | 188,184 | 6.4      | 455,121 | 12.5     |
|     | 旧 中, 新高卒 | 81  | 36,141 | 2.3      | 66,598 | 3.6      | 136,328 | 6.4      | 393,209 | 13.0     |
|     | 作 業 員    |     |        |          |        |          |         |          |         |          |
| 子   | 旧 中, 新高卒 | 76  | 33,785 | 2.3      | 60,443 | 3.6      | 134,351 | 6.4      | 322,101 | 10.5     |
|     | 旧高小, 新中卒 | 206 | 25,673 | 2.1      | 47,591 | 3.4      | 104,195 | 6.0      | 273,146 | 12.1     |
| 女   | 職 員      |     |        |          |        |          |         |          |         |          |
|     | 旧 中, 新高卒 | 69  | 30,259 | 2.3      | 55,405 | 3.8      | 116,197 | 6.6      | 295,604 | 13.8     |
|     | 作 業 員    |     |        |          |        |          |         |          |         |          |
|     | 旧 中, 新高卒 | 42  | 31,089 | 2.5      | 55,983 | 4.1      | 120,337 | 7.6      | 235,888 | 13.7     |
| 子   | 旧高小, 新中卒 | 160 | 22,678 | 2.1      | 41,813 | 3.4      | 89,016  | 6.3      | 220,292 | 12.9     |

| 項 目 |          | 社 数 | 20 年      |          | 25 年      |          | 30 年      |          |
|-----|----------|-----|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
|     |          |     | 金 額       | 月換<br>収算 | 金 額       | 月換<br>収算 | 金 額       | 月換<br>収算 |
| 男   | 職 員      |     | 円         |          | 円         |          | 円         |          |
|     | 旧 大, 新大卒 | 297 | 1,336,957 | 21.5     | 2,444,524 | 31.3     | 3,597,509 | 40.3     |
|     | 旧高専, 短大卒 | 250 | 1,122,045 | 22.3     | 2,057,429 | 31.2     | 3,183,006 | 43.6     |
|     | 旧 中, 新高卒 | 81  | 867,512   | 21.7     | 1,572,635 | 30.8     | 2,423,744 | 41.1     |
|     | 作 業 員    |     |           |          |           |          |           |          |
| 子   | 旧 中, 新高卒 | 76  | 681,594   | 22.0     | 1,200,467 | 33.2     | 1,746,409 | 42.9     |
|     | 旧高小, 新中卒 | 206 | 592,073   | 20.6     | 1,048,885 | 29.2     | 1,574,074 | 40.0     |
| 女   | 職 員      |     |           |          |           |          |           |          |
|     | 旧 中, 新高卒 | 69  | 588,144   | 22.4     | 921,429   | 32.0     | 1,416,760 | 41.1     |
|     | 作 業 員    |     |           |          |           |          |           |          |
|     | 旧 中, 新高卒 | 42  | 535,212   | 26.8     | 913,394   | 35.1     | 1,349,611 | 47.5     |
| 子   | 旧高小, 新中卒 | 160 | 440,638   | 21.7     | 675,425   | 31.4     | 1,061,807 | 42.9     |

資料出所：中労委「退職金事情調査」（36年1月）

是 佐 忠 男

である。この2表は、資本金1億円以上、従業員数1,000人以上の企業および中小企業について退職金支給額を調査したものである。

中労委調査の前表で勤続30年、定年退職男子旧中卒の生産現場作業員の退職金をみると昭和36年1月現在で183万円となっている。(ちなみに労働省調査、「毎月勤労統計調査」の特別に支払われた給与の全産業平均は、昭和36年平均24,375円に対し、昭和54年平均は247,933円で、その伸びは10.17倍になっている)。

#### (1) 基準退職金支給率の求め方

基準退職金支給率とは、基準となるべき退職者の退職金支給率で、基準退職金額を退職金算定の基礎額で除して得られる。

〔例〕 勤続30年、基準退職金1,800,000円として退職金支給率を求めよ。ただし退職金算定基礎額は、基本給の3分と2する。

退職時の賃金内訳

|      |         |      |         |      |        |
|------|---------|------|---------|------|--------|
| 基本給  | 45,000円 | 家族手当 | 1,600円  | 役付手当 | 5,000円 |
| 通勤手当 | 650円    | 計    | 52,250円 |      |        |

〔解〕 まず算定基礎金額を求めると

$$45,000円 \times \frac{2}{3} = 30,000円$$

となる。よって基準退職金支給率は

$$1,800,000円 \div 30,000(円) = 60である。$$

#### (2) 勤続年数別退職金支給率の求め方

基準退職金支給率が決定したら、次は勤続年数別の退職金支給率を求めるわけであるが、退職金規定の問題になるのは退職金額、すなわち退職金支給の基準となる額と退職金支給率の積であって、退職金支給率そのものではない。したがって、勤続年数別の退職金支給率を求めるに当たっては、あらかじめ勤続年数別にみた退職金支給額が、どのような曲線を描くか検討しておかねばならない。

退職金支給率の型としては

1 一律増加型      2 累進的増加型      3 段階的増加型

がある。

「一律増加型」は勤続年数と支給率との比が一定なら、グラフでみると直線方程式のものである。「累進的増加型」は定年までの勤続年数を数区分し、その区分ごとに支給率を定め、勤続年数の長い区分ほど、支給率が高くなる型である。

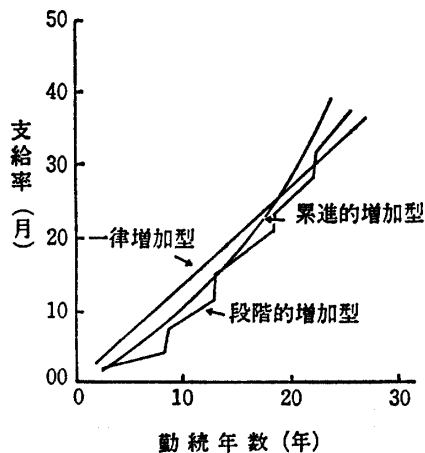
勤続年数別の支給率は、どの型を採用するにしても、数学的に求めることができる。すなわち、勤続年数別の支給率  $R$  は

$$R=aT^n$$

$a$ : 定数  $T$ : 勤続年数  $n$ : 方程式の型(支給率の型)を求める定数

で表わされる。この算式における  $n$  の値により支給率の上昇曲線が異なり、 $a$  の値が大きくなるほど上昇率が急激になるが、一般に  $n$  の値は、 $1 \leq n \leq 2$  の範囲内で決定される。

$n=1$  のときは、 $R=aT$  となり一律増加型となる。



$n=1.5$  のときは  $R=aT^{1.5}$  となり、いわゆる労研方式といわれる型となる。

$n=2$  のときは  $R=aT^2$  となり、2次曲線となる。私鉄方式と呼ばれるものは、この式に1次の項を付加したもので、

$$R=T+aT^2$$

で表わされ、 $R=aT^2$  の変型である。

〔例〕 前項の例について、勤続年数別の支給率を求めよ。

〔解〕

### 1. 一律増加型

勤続年数30年における支給率は60であるから、 $R=aT$  は、 $60=a \times 30$  となり、これを解けば  $a=2$  となる。よって支給率  $R$  は  $R=2T$  で表わされる。

### 2. 労研方式

$R=aT^{1.5}$  に、 $R=60$ 、 $T=30$  を代入すれば、 $60=a \times 30^{1.5}$  となる。この両辺に対数をとれば、

$$\log 60 = \log a + 1.5 \log 30 \text{ となり、これを解$$

けば、

$$\log 60 = \log a + 1.5 \log 30 = 1.7782 - 1.5 \times 1.4771 = 1.56255$$

$\therefore a=0.3652$  となる。よって求める支給率は  $R=0.3652T^{1.5}$  となる。

### 3. 2次曲線方式

同様に  $60=a \times 30^2$  となる。これを解くと

$$a = \frac{60}{900} = 0.06667 \text{ となり、求める支給率は } R=0.06667T^2 \text{ となる。}$$

是 佐 忠 男

#### 4. 私鉄方式

同様に  $60 = 30 + a \times 30^2$  となる。これを解くと  $a = \frac{60}{900} = 0.03333$  となる。

各方式および勤続年数出支給率

| 勤続年数<br>(年) | 2 次 式                         | 直 線 式                         | 労研方式                          | 私鉄方式                   |
|-------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------|
|             | $R = aT^n$<br>$n=2.0$<br>(カ月) | $R = aT^n$<br>$n=1.0$<br>(カ月) | $R = aT^n$<br>$n=1.5$<br>(カ月) | $R = T + aT^2$<br>(カ月) |
| 3           | 6.6                           | 6.0                           | 1.9                           | 3.3                    |
| 5           | 1.7                           | 10.0                          | 4.1                           | 5.8                    |
| 10          | 6.7                           | 20.0                          | 11.5                          | 13.3                   |
| 15          | 15.0                          | 30.0                          | 21.2                          | 22.4                   |
| 20          | 26.7                          | 40.0                          | 32.7                          | 33.2                   |
| 25          | 41.7                          | 50.0                          | 45.6                          | 45.6                   |
| 30          | 60.0                          | 60.0                          | 60.0                          | 60.0                   |

#### (3) 退職年金

退職年金とは、企業が退職労働者に退職一時金に代って一定期間年金の給付を行う制度である。したがって、年金を支給する期間と額が問題となるが、これらについては基準退職金額の求め方を参照されたい。なお、退職年金の計算は、複利計算が基礎となるから、算定に必要な公式を解説しながら、以下に述べる。

##### イ 退職年金計算の公式

退職年金の計算では、利息計算が基礎になるから、これらに関する公式から述べよう。

##### 1) 単利と複利

単利は、元金に対して、毎期末に一定の率の利子が付けられる。したがって元金をA、期間をn年、年利をrとすれば、n年後の元利合計は、元利合計  $= A(1 + nr)$  で表わされる。

これに対し複利では、元金に対して期末に一定の率で算出された利子が付き、この利子が元金に繰り入れられて、新たに元金となり、この元金に次期末に利子が付くことになる。すなわち、利子が利子を生むから、n年後の元利合計は、元利合計  $= A(1 + r)^n$  で表わされる。

##### 2) 終価

終価とは、元金1円から生ずるn年後の元利合計をいい、次の式で表わされる。

$$\text{終価} = (1 + r)^n$$

##### 3) 現価

現価とは、 $n$ 年後において元利合計が1円になるため、最初の時点において必要な元金をいい、次の式で表わされる。

$$\text{現価} = \frac{1}{(1+r)^n}$$

なお、式で明らかなように現価は終価の逆数である。

#### ロ 年金現価

年金現価とは、毎年末に1円ずつの年金を $n$ 年間支給する場合、これに要する元金をいい、利率を $r$ 、期間を $n$ 年とすれば、元金 $S$ は

$$S = \frac{1}{r} \left\{ 1 - \frac{1}{(1+r)^n} \right\}$$

で表わされる。

〔証明〕

年金現価 $S$ は、1年後、2年後…… $n$ 年後の現価の和であるから

$$S = \left\{ \frac{1}{1+r} + \frac{1}{(1+r)^2} + \cdots + \frac{1}{(1+r)^n} \right\} \quad \cdots(1)$$

となり、この式の両辺に $\frac{1}{1+r}$ を乗ずれば

$$S \frac{1}{1+r} = \left\{ \frac{1}{(1+r)^2} + \frac{1}{(1+r)^3} + \cdots + \frac{1}{(1+r)^n} + \frac{1}{(1+r)^{n+1}} \right\} \quad \cdots(2)$$

となる。ここで{(1)式-(2)式}を求めれば

$$S \left( 1 - \frac{1}{1+r} \right) = \left\{ \frac{1}{1+r} - \frac{1}{(1+r)^{n+1}} \right\}$$

となり、次に両辺に $(1+r)$ を乗じて整理すれば

$$S r = \left\{ 1 - \frac{1}{(1+r)^n} \right\}$$

$$\therefore S = \frac{1}{r} \left\{ 1 - \frac{1}{(1+r)^n} \right\}$$

となる。

〔例〕 年金を毎年末10万円ずつ、20年間支払う場合、これに要する元金はいくらか。ただし、年利率は7分とする。

〔解〕 元金を $T$ 、年金額を $\alpha$ とすれば

$$T = \alpha S = \frac{\alpha}{r} \left\{ 1 - \frac{1}{(1+r)^n} \right\} \quad \cdots(1)$$

で表わされる。次に題意により $\alpha=100,000$ 、 $r=0.07$  および  $n=20$  を(1)式に代入すれば

是 佐 忠 男

$$T = \frac{100,000}{0.07} \left\{ 1 + \frac{1}{(1+0.07)^{20}} \right\}$$

=1,059,401円 となる。

なお，年金 1 円が年  $p$  回分割して，年間支払われる場合の年金現価は

$$S_p = S \cdot \frac{r}{pj} [\because j = (1+r)^{1/p} - 1]$$

で表わされる。

〔証明〕

年金 1 円が毎年  $p$  回に分割して支払われる年金現価  $S_p$  は

$$S_p = \frac{1}{p} \left\{ \left( \frac{1}{1+r} \right)^{1/p} + \left( \frac{1}{1+r} \right)^{2/p} + \dots + \left( \frac{1}{1+r} \right)^{np/p} \right\} \quad \dots\dots(1)$$

で表わされる。ここで

$$\left( \frac{1}{1+r} \right) = V$$

とおけば (1) 式は，

$$S_p = \frac{1}{p} (V^{1/p} + V^{2/p} + \dots + V^{np/p}) \quad \dots\dots(2)$$

で表わされる。次に(2)式の両辺に  $V^{1/p}$  を乗ずれば

$$S_p \cdot V^{1/p} = \frac{1}{p} (V^{2/p} + V^{3/p} + \dots + V^{np \cdot 1/p}) \quad \dots\dots(3)$$

が得られる。ここで {(2)式-(3)式} を求めれば

$$\begin{aligned} S_p(1 - V^{1/p}) &= \frac{1}{p} (V^{1/p} - V^{np \cdot 1/p}) = \frac{V^{1/p}(1 - V^n)}{p} \\ \therefore S_p &= \frac{V^{1/p}(1 - V^n)}{p(1 - V^{1/p})} = \frac{1 - V^n}{r} \cdot p \frac{r V^{1/p}}{(1 - V^{1/p})} = \frac{1}{r} (1 - V^n) \times \frac{r}{p \left( \frac{1}{V^{1/p}} - 1 \right)} \\ &= \frac{1}{r} \left\{ 1 - \frac{1}{(1+r)^n} \right\} \cdot \frac{r}{p \{ (1+r)^{1/p} - 1 \}} = S \cdot \frac{r}{p \{ (1+r)^{1/p} - 1 \}} \\ &= S \cdot \frac{r}{pj} [\because j = (1+r)^{1/p} - 1] \end{aligned}$$

となる。すなわち毎年 1 回  $n$  年間支払われる年金現価に  $\frac{r}{pj}$  を乗じたものが，年  $p$  回に分

割して支払われる場合の現価となる。なお， $\frac{r}{pj}$  の値を表に示す。

〔例〕 年金12万円を年 4 回に分割して20年間支払う場合の元金はいくらか。ただし，年  
利率は6分とする。

〔解〕 年 4 回の場合の年金現価  $S_p$  は

$$S_p = S \cdot \frac{r}{pj}$$

で表わされる。そこでまず年1回の場合の年金現価を求めると

$$S = \frac{1}{0.06} \left\{ 1 - \left( \frac{1}{1+0.06} \right)^{20} \right\} = 11.469921$$

となる。次に  $\frac{r}{pj}$  の値を下表により求めると 1.02222688 である。

よって、元金  $r$  は

$$r = \alpha S_p = \alpha S \cdot \frac{r}{jp}$$

$$= 120,000 \times 11.469921 \times 1.02222688 = 1,406,983$$

となる。

年  $p$  回払いの  $r/pj$

| 利 率 (%) | 2 回        | 4 回        | 6 回        | 12 回       |
|---------|------------|------------|------------|------------|
| 6       | 1.01478151 | 1.02222688 | 1.02471676 | 1.02721070 |
| 7       | 1.01720402 | 1.02588002 | 1.02878298 | 1.03169143 |
| 8       | 1.01961524 | 1.02951904 | 1.03283456 | 1.03615721 |
| 9       | 1.02201533 | 1.03314414 | 1.03687170 | 1.04068224 |
| 10      | 1.02440442 | 1.03675551 | 1.04089460 | 1.04504472 |